

御堂筋チャレンジ2022における 回遊促進の取組

ミナミ・ウォーカブル・ストリート

2025大阪・関西万博に向け、まちと、みちと、DXでつなぐ、ミナミエリアの回遊事業

**「おもてなしの
スポット・コンテン
ツ・ルートづくり」**
(地域・商店街・中央区役所)

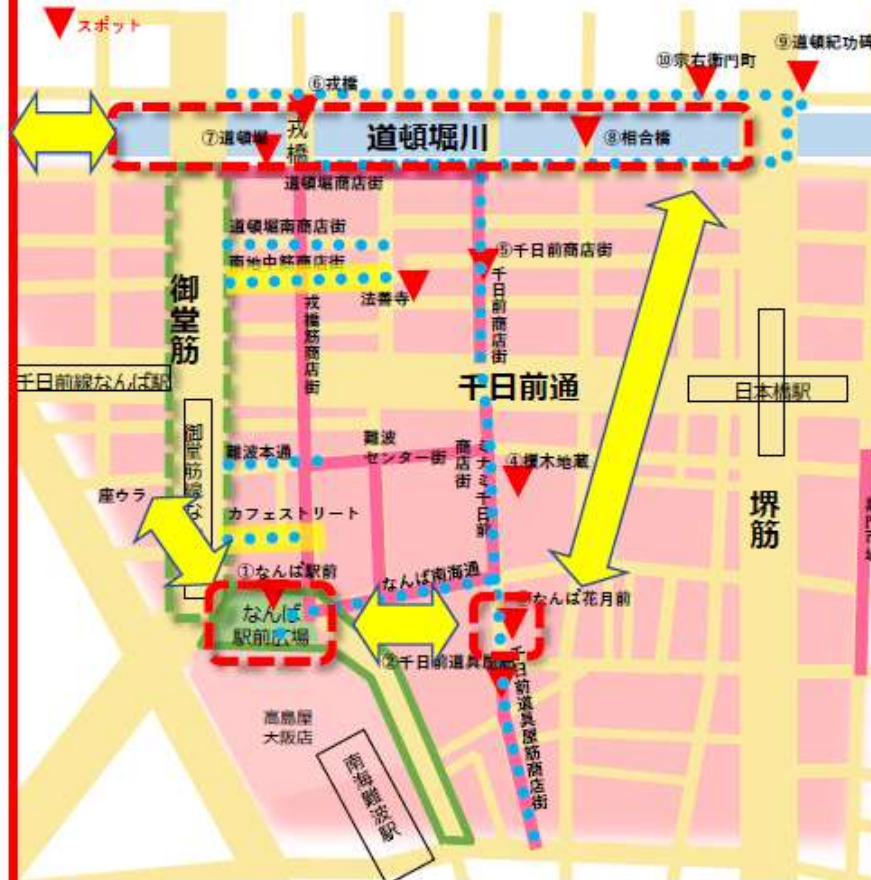
①ARスポットで回遊

- ・ミナミ商店街や観光名所でのARスポットの設置（音声ガイドやVR動画で紹介）
- ・ARスポットをめぐるまちあるき企画



②リバーフェスティバル で回遊

- ・11/12～13開催の道頓堀リバーフェスティバル2022にあわせて、駅・なんば駅前広場からイベント会場への回遊（とんぼりリバーウォーク、YESシアターほか）



産官学でのデータ検証

- ・おもてなしコンテンツ・ルートづくりと連動したデータ等による検証
- ・東西や南北分担解消、放置自転車など、課題解決に向けた実証やデータ取得など

「南北・東西の ウォーカブル環境 づくり」

(商店街・エリマネ団体ほか)

③南北のウォーカブル 環境づくり

- ・御堂筋の2期整備区間（道頓堀川～千日前通）完成に合わせた、滞在空間の実験（ベンチの設置など）



④東西のウォーカブル 環境づくり

- ・東西方向の商店街と連携した、路地空間のウォーカブルな魅力
- ・空間づくりの実験（オープンカフェなど）



御堂筋チャレンジ2022の取組検証の観点

今年度の検証観点と検証項目

①御堂筋の滞在空間本格整備

●回遊が広がったか？

- ⇒御堂筋の滞在空間整備により、御堂筋の通行者が増加したか
- ⇒御堂筋から周辺への回遊が広がったか、どのエリアに広がったか

○ビデオ計測

- ⇒通行量の変化の把握

○GPSデータ分析

- ⇒御堂筋および御堂筋周辺の滞在状況の変化の把握

②東西の取組強化（カフェ・ストリート・南地中筋）

●東西の動きが創出されたか？

- ⇒東西道路の通行が増加したか
- ⇒滞在や回遊の広がりがあったか
- ⇒波及効果があったか

○通行状況調査

- ⇒対象東西道路の通行状況の把握

○GPSデータ分析

- ⇒東西道路交通量の変化の把握

○店舗アンケート調査

- ⇒来訪状況、売り上げの変化の把握

③エリア回遊の情報・コンテンツ作りの試行（AR・リバーフェス）

●エリアの動きは広がったか？

- ⇒道頓堀リバーフェスティバルでエリアの来訪者が増加したか
- ⇒エリアをまたいだ回遊は広がったか

○エリア全体のGPSデータ分析

- ⇒取組実施箇所周辺の回遊・滞留状況、回遊状況の変化の把握
- ⇒来訪者の特性分析、エリア回遊促進の課題分析

○デジタルスタンプラリーログデータ分析

- ⇒参加状況・特性の把握

④ネットワークの現状・課題把握

●エリア全体で動きを作るための、課題・ポテンシャルは？

- ⇒全体の利用状況の把握
- ⇒エリア全体のネットワーク課題の分析

○周辺ネットワークの利用状況調査・空間特性分析

- ⇒面的な利用状況調査（地下・出入口等含め）
- ⇒ネットワーク特性、課題分析

結果のまとめ

① 御堂筋の滞在空間本格整備 ～回遊が広がったか？～

御堂筋上の滞在空間整備



プロトタイプベンチ



モックアップベンチ



御堂筋の滞在空間整備により通行者が増加したか

- ・チャレンジ期間中、**御堂筋の通行者数が増加**
- ・モデル区間を含め、**難波駅から北側の御堂筋沿いの通行者が増加**

▼期間中滞在者分布 (携帯GPSデータ)

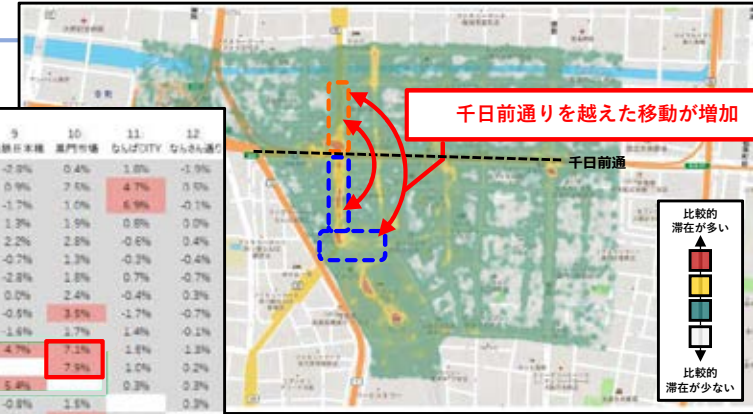


御堂筋から周辺への回遊が広がったか、どのエリアに広がったか

- ・**難波駅から御堂筋へ**の動きに加え、**御堂筋から戎橋筋商店街や千日前商店街**の回遊が増加
- ・また、道頓堀と戎橋筋商店街の回遊なども増加

▼エリア内回遊パターンの変化 (赤：増、青：減)

基準エリア	1. 駅前広場	2. 御堂筋南	3. 御堂筋北	4-1. 御堂筋北西	4-2. 御堂筋南西	5-1. 戎橋筋	5-2. 道頓堀	6-1. 千日前	6-2. 千日前南	7. 道頓堀商店街	8. 道頓堀	9. 道頓堀日本橋	10. 南門市場	11. なんばDIXY	12. なんば大通
1. 駅前広場	0.0%	0.0%	11.0%	1.3%	-4.2%	-0.1%	-1.1%	-0.2%	-4.5%	1.7%	-7.7%	-2.9%	0.4%	1.0%	-1.9%
2. 御堂筋南	7.0%	7.3%	11.3%	3.6%	-0.7%	-0.1%	3.6%	1.5%	1.8%	-4.6%	1.0%	0.9%	7.3%	4.7%	0.0%
3. 御堂筋北	6.5%	7.3%	11.4%	1.9%	-3.4%	-3.7%	0.1%	0.4%	0.7%	7.2%	0.4%	-1.7%	1.0%	6.9%	-0.1%
4-1. 御堂筋北西	2.0%	0.4%	11.4%	-2.1%	-0.8%	0.0%	1.5%	0.0%	2.3%	2.3%	0.6%	1.3%	1.9%	0.8%	0.0%
4-2. 御堂筋南西	-0.2%	3.9%	7.7%	6.3%	0.1%	2.8%	2.1%	1.9%	3.4%	1.1%	2.2%	2.8%	-0.6%	-0.4%	0.4%
5-1. 戎橋筋	-1.1%	-2.4%	8.6%	1.5%	-2.5%	5.6%	2.2%	-2.2%	11.9%	-0.4%	-0.7%	1.3%	-0.3%	-0.4%	-0.4%
5-2. 道頓堀	-1.8%	-0.1%	7.5%	0.1%	-3.2%	-0.2%	1.2%	-0.4%	10.9%	-0.3%	-2.8%	1.8%	0.7%	-0.7%	-0.7%
6-1. 千日前	-0.9%	-0.7%	8.9%	2.6%	-1.4%	-2.4%	1.3%	2.1%	6.1%	1.0%	0.0%	2.4%	-0.4%	0.3%	0.3%
6-2. 千日前南	-0.6%	-0.8%	8.9%	1.3%	-1.9%	-1.8%	3.1%	3.3%	4.3%	1.0%	-0.5%	3.5%	-1.7%	-0.7%	-0.7%
7. 道頓堀商店街	0.0%	0.0%	7.8%	0.1%	-2.6%	0.1%	5.4%	1.1%	2.9%	0.8%	-1.6%	1.7%	1.4%	-0.1%	-0.1%
8. 道頓堀	-1.4%	1.7%	4.7%	0.8%	1.9%	1.5%	0.1%	0.9%	-2.1%	2.9%	4.7%	7.1%	1.8%	1.3%	1.3%
9. 道頓堀日本橋	3.8%	0.9%	4.1%	1.8%	0.9%	0.6%	0.1%	1.5%	0.2%	3.0%	4.0%	7.3%	1.0%	0.2%	0.2%
10. 南門市場	-0.9%	0.7%	3.1%	1.1%	0.6%	-1.0%	0.1%	0.4%	-0.5%	1.9%	3.3%	5.4%	0.3%	0.3%	0.3%
11. なんばDIXY	5.2%	0.3%	1.0%	1.3%	-2.3%	-0.4%	1.7%	0.5%	-0.7%	2.8%	0.8%	-0.8%	1.5%	0.3%	0.3%
12. なんば大通	-2.4%	-0.9%	6.7%	1.3%	-1.6%	-1.0%	1.0%	1.6%	-2.0%	1.7%	1.0%	1.7%	4.1%	2.1%	2.1%



出典：(株) unerry
※エリア内における相対的な密度を濃淡で表現。

検証結果

- 駅等からの通行を促すとともに、周辺エリアへの回遊を促すことができた
- 御堂筋の滞在空間整備や、東西との連携は、エリアの回遊を促す上で効果的
⇒ 広場や前後区間の整備状況を踏まえつつ、より本格的な活用が必要

結果のまとめ

②東西の取り組み強化による効果 ～東西の動きが創出されたか？～

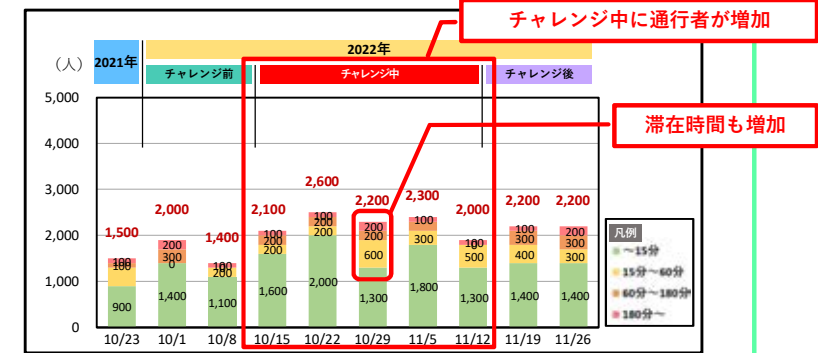
東西道路でのイベント・空間活用



東西道路の通行が増加したか

- 南地中筋屋、カフェストリートにおいて、実験前に比べ **通行者数・滞在時間が増加傾向**

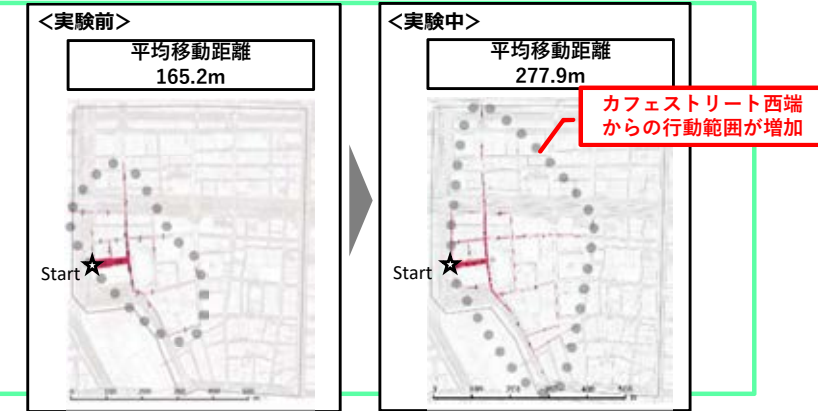
▼南地中筋の来訪者数（携帯GPSデータ）



滞在や回遊の広がりがあったか

- チャレンジ中は、周辺の店や情報を見る行為、会話などが多く実施されている
- これに伴い、来訪者の移動距離の増加もみられた（カフェストリート）

▼カフェストリート通行者の移動距離



検証結果

- 御堂筋と東西が連携した取り組みにより、東西への流れを促すことができた
- 普段とは違う気づきや行動、店舗への立ち寄りも誘発できたと考えられる
- ⇒来訪者の特性・動きも踏まえた効果的取組の展開、エリアの課題（ゴミ・タバコ等）も含めて対応

結果のまとめ

③エリア回遊施策による効果（リバフェス・デジタルスタンプラリー） ～エリアの動きは広がったか？～

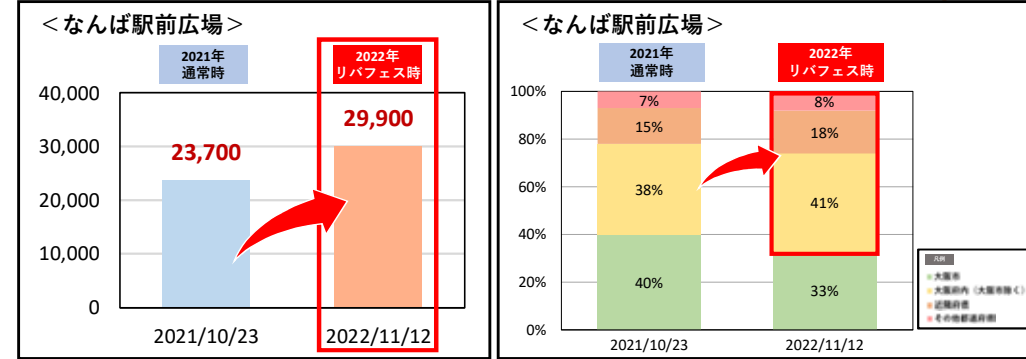
エリア回遊イベントの実施



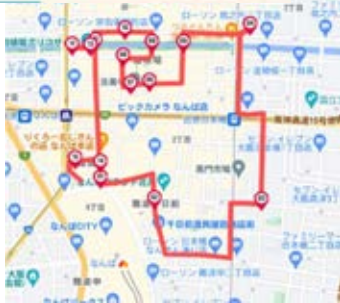
道頓堀リバーフェスティバルで回遊がされたか

- ・なんば駅前広場を中心に、**イベント実施エリアの来訪者が増加**
- ・特に、**遠方からの来訪者**が増加している
- ・スタンプラリーも周辺各箇所の回遊を促した

▼道頓堀リバーフェスティバルでの来訪状況（携帯GPSデータ）



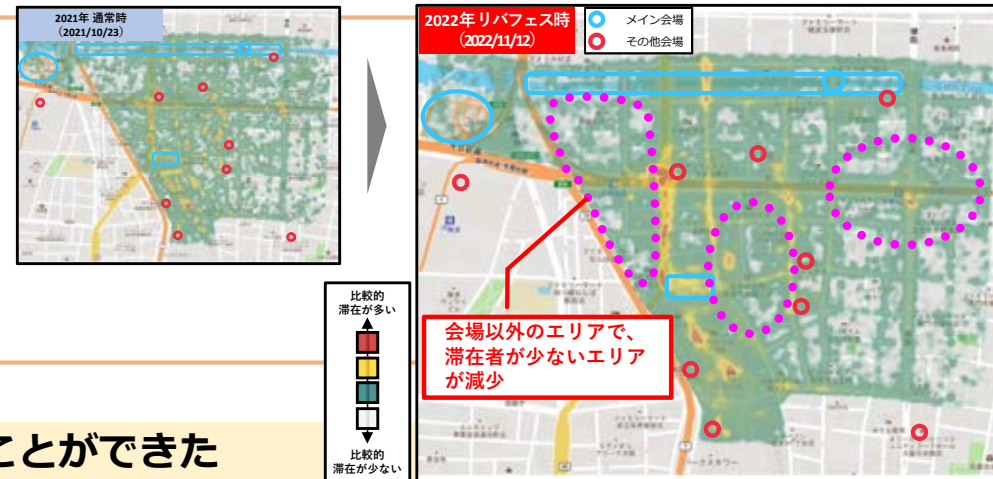
■データ期間 (2021/10/23, 2022/11/12 : 10:00~20:00)
 ■当該エリアに短時間でも存在したスマートフォン数・滞在時間から推計 (イベントに参加していない通過者なども含む)
 ■データ提供: KDDI・技研商事インターナショナル「KDDI Location Analyzer」
 ※auスマートフォンユーザーのうち個別同意を得たユーザーを対象に、個人を特定できない処理を行って集計



エリアをまたいだ回遊は広がったか

- ・エリア全体でも滞在者・滞在時間は増加傾向
- ・イベント実施箇所周辺の、**普段滞在者が少ないエリアへの回遊**を促すことができている

▼周辺エリアの滞在状況の変化（携帯GPSデータ）



検証結果

- イベントにより、来訪者・滞在時間の拡大を促すことができた
- 分散型の実施により、周辺エリアへの拡大、波及効果も発生
- ⇒地元とも連携し、より効果的・持続的な形での取組展開

出典：(株) unerry
 ※エリア内における相対的な密度を濃淡で表現

2022結果概要

御堂筋の滞在空間本格整備

- 駅等からの通行を促すとともに、周辺エリアへの回遊を促すことができた
- 御堂筋の滞在空間整備や、東西との連携は、エリアの回遊を促す上で効果的
⇒ 広場や前後区間の整備状況を踏まえつつ、より本格的な活用が必要

東西の取組強化 (カフェストリート・南地中筋)

- 御堂筋と東西が連携した取り組みにより、東西への流れを促すことができた
- 普段とは違う気づきや行動、店舗への立ち寄りも誘発できたと考えられる
⇒ 来訪者の特性・動きも踏まえた効果的取組の展開、エリアの課題（ゴミ・タバコ等）も含めて対応

エリア回遊の情報・コンテンツ作りの試行 (リバフェス・デジタルスタンプラリー)

- イベントにより、来訪者・滞在時間の拡大を促すことができた
- 分散型の実施により、周辺エリアへの拡大、波及効果も発生
⇒ 地元とも連携し、より効果的・持続的な形での取組展開

ネットワークの現状・課題把握

- 御堂筋東側よこみちや千日前通り、ウラなんば等での阻害要因への対応が必要
- 特に、御堂筋東側よこみちでは、視線・動線の確保、雰囲気づくり等が必要
⇒ 分析結果を踏まえて、戦略的に対策を実施

今後の課題

- ① **滞在空間整備**
✓ 駅前広場・御堂筋の**効果的空間活用**
- ② **御堂筋よこみち連携**
✓ よこみちのポテンシャルを活かす**連携取組の強化**
✓ **地域の課題と連動**させた展開
- ③ **エリア回遊促進**
✓ 来訪者特性・動き等を踏まえた、**ネットワーク・環境改善**、コンテンツの**効果的発信**
- ④ **体制構築**
✓ 地域・地元との**連携強化、共創**
✓ 官民学による検討**体制づくり**

2022

2023

2024

2025～

なんば
ひろば
改修計画



広場整備⇒

3期区間整備⇒

2025大阪
関西万博

Step1
東西、情報コ
ンテンツ試行

- ・東西実験
- ・情報コンテ
ンツ活用

Step2
ネットワークによる回遊
促進×環境改善

- ・魅力づくり、課題対応
の推進
- ・データ共有、検討体制

Step3
官民連携による相乗的
回遊まちづくり

- ・データを活かした地
域による取組
- ・エリアマネジメント

ウォーカブル
ミナミへ

